

2023年度 全日本学生トラックレースシリーズ 第3戦
TIPSTAR DOME CHIBA 8月ラウンド
(記録会&ポイントレース&ケイリン&マディソン)

2023年7月30日 Communiqué4

競技上の注意

(1) 基本原則

- ・すべての参加者(選手、スタッフ、役員、その他)は安全を第一に競技会に参加すること。
- ・すべての参加者は競技規則を再確認し、それを順守すること。

(2) 競技規則説明会について

- ・2023年8月1日付けトラックレース UCI 規則の改定を日本学生自転車競技連盟の各大会でどのように適応するかについての理事会の決定についての説明会が下記日程で開催される。
- ・本大会参加チーム代表者は参加されることを強く推奨する。

日程：2023年8月3日(木) 20時00分 オンライン

申し込みフォーム：<https://forms.gle/9zmiPFqwAYsqWtuq5>

(3) 本大会の競技役員は以下の通り

- ・コミッセル・パネル 古田 雅拓(PCP)、森川 和之、大島 環、大脇 恒夫
- ・セーフティマネージャー 傳野 龍太郎
- ・その他アシスタントコミッセル (予定)

(4) 競技規則について

- ・本大会は2023年8月1日版 UCI 規則、および大会特別規則を適用する。
- ・ただし、UCI 規則 3.2.013、3.2.021ter、3.10.003 項は3月20日版規則を適用する。
すなわち、本大会においてはスタンディング・スタート競技において、選手は2回のみ(不正スタートまたは事故が生じた場合、1回の再スタートのみ)スタートが認められる。
警告と失格は当該種目のみに適用される。

参考) 2023年8月1日改定のトラックレース UCI 規則について/JCF 審判委員会 ([リンク](#))

(5) 機材について

- ・当連盟 HP に掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。(例えば、「ナットの緩みやチューブラータイヤのリムセメント固定不十分など、整備不良が事故(落車や不正スタート等)の原因であることが明らかな場合、安全上の観点からコミッセルの判断により再発走を認めないことがあります」など詳細は本規定を確認すること)

(6) バイクチェックについて

- ・参加選手は出走の15分前までにバイクチェックを受けること。
- ・チームスタッフは出走順と競技の進行状況を確認し、選手が時間通りにバイクチェックを受けるように注意すること。
- ・主催者は参加者のバイクが競技規則に適合しているかどうかを確認する。
- ・自転車の整備について主催者はいかなる責任も負わない。
- ・自転車の整備不良等により、安全を損ねる危険性がある場合は、出走を認めないことがある。

2023年度 全日本学生トラックレースシリーズ 第3戦
TIPSTAR DOME CHIBA 8月ラウンド
(記録会&ポイントレース&ケイリン&マディソン)

(7) セーフティーゾーンについて

- ・セーフティーゾーンとは、ブルーバンドの内側のエリアのことである。
- ・競走中は、セーフティーゾーンの中には競技規則で認められている場合（パーシュート種目と、バンチレースで事故が発生した後にコミッセルに認められた場合）を除き、チームスタッフが立ち入ることはできない。

スタート前のホルダーも含め、セーフティーゾーンに侵入する際は周りをよく注意すること。

- ・競走中であっても一部の競技役員はセーフティーゾーン内で執務を行っていることがある。選手はよく前を見て走行し、衝突することのないように充分注意すること。

(8) タイム系種目について

- ・発走機を使用し、電子計時を予定している。
- ・競技時程が円滑に進行するよう、次の走者は、スタート地点付近にて待機すること。
- ・出走順になったら、速やかにペダル位置を合わせて発走機に自転車をセットすること。
- ・競技終了後は可及的速やかにコースから退出すること。

(9) チームスプリント、チームパーシュートについて

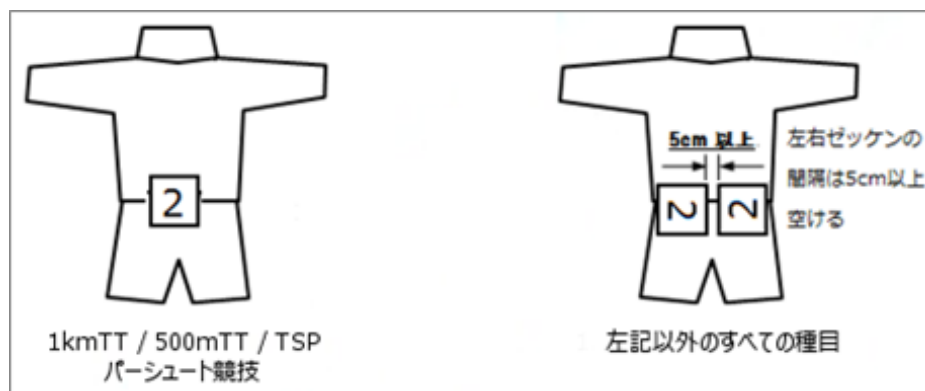
- ・二走目以降のホルダーは各チームで用意すること。

(10) バンチレースについて

- ・各種目専用ゼッケンを使用する。選手は、番号間違いが無いように確認の上、審判が視認できるように安全ピンでしっかり取り付けること。また、フレームプレートを配布するので、身体で隠れないようにフレーム中央に取り付けること。（トランスポンダーは使用しないので、選手判別にはゼッケン及びフレームプレートの番号を審判が容易に読取れることが非常に重要である。十分に留意すること。）

- ・事故等に備えたチーム員は、必要な機材をあらかじめウオームアップエリアのスロープ下、走路入り口付近で準備・待機すること（スロープでの待機は認めない）。事故の際にインフィールドに入る際は、コミッセルの許可を受け、その指示に従うこと。

「参考:ゼッケンの付け方」



以上